

除草軽減緑化工法

BOSOシステム

国土交通省 NETIS
CB-090035-A
(掲載期間終了)

『キャップ一体型BOSOマット』によって雑草の発生を抑制しながら、
『グランドカバープランツ』による緑の景観を形成する除草軽減型の
修景緑化工法です。

植栽状況 (例：ヒメイワダレソウ)



特 長



- グランドカバープランツによる緑の景観を維持します。
- 2重の防草効果により、雑草の発生を大幅に抑制します。
防草効果 1：BOSO マットが雑草の発生を面的に抑制
防草効果 2：BOSO キャップが隙間からの雑草発生を抑制
- 除草作業の軽減とトータルコストの軽減が図れます。
- システム化により施工性と施工精度が向上します。



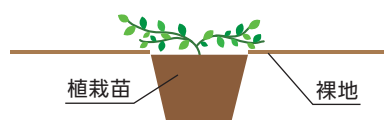
施工後 3ヶ月



施工後 5ヶ月

BOSOシステムの効果

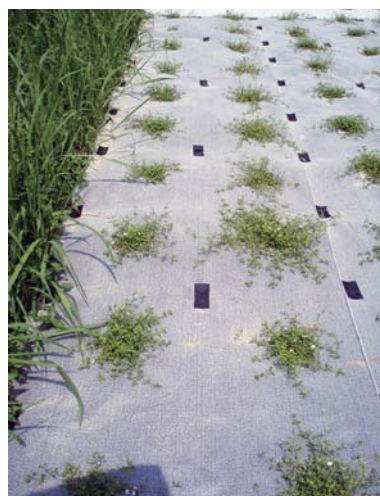
①直植え
(マット、キャップ両方無し)



②マット開口部に植栽
(マット有、キャップ無し)



③ BOSO システム
(マット+キャップ使用)



『③ BOSOシステム施工区』が、雑草の生育を最も抑制しています。

注)：上記写真のマットと本製品のマットと色が異なりますが、期待される効果は同じです。

キャップ一体型BOSOマットの製品スペック

- 高い引張強度・・・高い引張強度によって、**雑草の貫通を防止**します。
- 優れた耐候性・・・耐UV機能によって**長期間防草効果**を発揮します。
- 高い遮光率・・・高い遮光率によって、**シート下の残存種子・植物の生育を抑制**します。
- 優れた柔軟性・・・柔軟性に富み、地山とよくなじみ、シートの浮き上がりによる**乾燥害を軽減**します。
- 施工作業の簡略化・・・事前に植栽箇所にて穴を開けて出荷するため、施工現場での植栽箇所の位置出しや切り込み**作業を省略**することが出来ます。

適応条件

- 対象土壌は土壌硬度23mm以下、礫含有率20%以下を標準とします。
(上記以外で使用される場合は、土壌入れ替え等の検討をお願いします)
- 法面勾配 1:1.5よりも緩勾配での使用を標準とします。
- 日光や降雨が遮られる場所での使用は避けて下さい。

植栽植物例

ヒメイワダレソウ



科名・分類：クマツヅラ科イワダレソウ属
植栽可能域：関東以南
植栽適期：3月下旬～10月中旬（夏季を除く）

クラピア



科名・分類：クマツヅラ科イワダレソウ属（改良種）
植栽可能域：東北中部以南
植栽適期：3月下旬～10月中旬（夏季を除く）

ポテンティラ・ベルナ



科名・分類：バラ科キジムシロ属
植栽可能域：東北以南
植栽適期：3月下旬～10月中旬（夏季を除く）

クリーピングタイム



科名・分類：シソ科イブキジャコウソウ属
植栽可能域：関東以北
植栽適期：3月下旬～10月中旬（夏季を除く）



ワイルドストロベリー

科名・分類：バラ科イチゴ属
植栽可能域：関東以北
植栽適期：3月下旬～10月中旬（夏季を除く）

※ 植栽植物は、導入地域の気候や施工目的に応じて選定します。
詳細は担当営業員にお問い合わせ下さい。

事前処理・維持管理

- 事前処理として、施工地の雑草除去（除草剤散布・刈り払い）を行って下さい。
（雑草の侵入が著しい場合には、表土剥ぎ取りの検討をお願いします）
- 苗植え付け後、10日間～2週間程度は散水を行って下さい。
- BOSOシステムを施工しても、飛来する雑草の侵入を全て防止できるわけではありません。
良好な景観を維持するために、雑草の定着状況に応じて、年1回～2回の除草を行って下さい。

【注意事項】

- ・ 導入植物は施工地域での実績や環境等を考慮し、適切なものを選定して下さい。
- ・ 植物（苗）にはそれぞれ植栽適期がありますので、施工時期に注意して下さい。
- ・ 植物（苗）の在庫には限りがありますので、あらかじめ在庫状況の確認を行って下さい。

施工事例

植樹帯（植栽植物：ヒメイワダレソウ）

熊本県 道路景観整備工事



施工後 1 ヶ月



施工後 3 ヶ月

植樹帯（植栽植物：ヒメイワダレソウ）

熊本県 道路景観整備工事



施工直後



施工後 3 ヶ月

盛土法面（植栽植物：ヒメイワダレソウ） 宮崎県 道路維持工事



施工後 4 ヶ月

ため池法面（植栽植物：ヒメイワダレソウ） 福岡県 公園整備事業



施工後 5 ヶ月